

森づくり通信

No.32

2014年(平成26年) 6月 12日(木)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



桐の木

今年も各地で森づくり活動が活発に行われる季節になりました。気温も30℃を超えいきなり真夏日になり、北海道では観測史上初の37℃を超え、異常気象と言わざるを得ません。

当協会も企業の森の活動をお手伝いする回数が増え、うれしい悲鳴(?)が上がる時もありますが、ありがたいことだと感謝しております。

秋もすでに何件か予定が入っていますが、皆さんと安全と健康に気を付けて、さわやかな汗をかきたいと思っています。

平成26年度 金沢森づくりイベント情報(一般向け)

日程	イベント内容 (予定)	場所
7月19日(土)	森のファミリースクール 木道ボード製作・土台作りと昆虫教室	医王の里オートキャンプ場
8月 5日(火)	子ども まちなか ウッディアート 間伐材でクラフト作り	金沢市民芸術村
8月23日(土)	企業の森・製材所見学と竹伐採・クラフト作り 製材所・企業の森を見学、竹伐採と竹クラフト作り	市内バスツアー・森本など
9月27日(土)	金沢テクノの森づくり2014秋 森林整備とどんぐりの苗づくり	金沢テクノパーク緑地帯
9月27日(土)	木道ボード作成・土台作りとネイチャーゲーム 新設木道作り・ボード製作、ネイチャーゲーム	医王の里オートキャンプ場

森づくりの話 ④

前回に続き森づくり活動の装備品ですが、汗をかくので下着やTシャツなどの着替えも必要で、汗ふきにタオルも良いのですが、日本手ぬぐいがお勧めだと言われています。乾燥が早くてかさばらないのと、緊急時には包帯や三角巾の代わりになったり、細く裂くと紐として使えます。

また、雨具も携行する装備品です。必ず上下が別々のセパレートタイプで、防水と中からの蒸れを防ぐものが良いと思います。雨が降らなくても上着の方はウインドブレーカーとして防寒にもなるし、雨の翌日や朝露の森を歩くのに雨具のズボンは重宝します。

グループ全体では救急箱(袋)はどんな作業でも必需品で、包帯、三角巾、テーピングテープ、脱脂綿、消毒液、カットバン、虫さされのくすり、とげぬきなど。ポイズンリムーバーは蜂に刺された時の毒抜きができ、夏から秋にかけては蜂の活動が活発になるので、1個は準備しておくとういと思います。なお、薬品に関しては有効使用期限があるので、少なくとも年1回はチェックが必要です。

森づくり活動 実施報告

元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れの不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も減少してしまいます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO 法人等の協力を得て森づくり活動を行っています

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

4/18(金) 5/18(日) よねざわの森

よねざわグループの新人研修の一環として、31名が林道甥杉線と竹林の整備を行いました。

林道は側溝の泥上げが中心で、竹林整備は竹の間伐を行い破碎機で粉碎してキレイにしました。

5/18(日)の活動ではグループ100名がベンチを新設したり、鳥の巣箱を作るなどして林地の残材破碎後、全員でバーベキューを行い交流をはかりました。



5月10日(土) 竹やぶバスターズ①

市民親子32名で金沢テクノパークの竹やぶを整備しました。以前竹は貴重な原材料でしたが、竹が利用されず竹やぶとなり里山の荒廃を招いています。

竹を伐採して破碎機で粉碎し、親子チームは現地のコナラやアベマキで育てた幼樹の植え替えを行いました。

タケノコ掘りやタケノコ入りチャーハン、スパゲッティの振舞いも好評で来年も来たいとの声が多数ありました。



4月26日(土) 金沢テクノの森づくり

金沢テクノパークの企業5社の従業員、家族を中心に93名が隣接するテクノの森を整備しました。

林内残材整理や現地で間伐したスギの丸太ベンチづくり。散策路の整備や階段の補修、コブシの木も植栽しました。

作業終了後はタケノコ掘りとシイタケの植菌を行い、それぞれ持ち帰りました。タケノコ入りのメッタ汁の振舞いもあり森の中で楽しいひと時を過ごしました。



5月17日(土) きんしん 東原の森づくり

きんしん環境財団主催で職員と家族、地元町会約170名が参加し森の整備を行いました。

東屋のお披露目、植樹祭のプレイベントとして秋に植栽する場所の整備。整備で出たクヌギやコナラにシイタケを植菌しました。子どもたちはスギ間伐材でのエンピツ立つくりチャレンジして、地元の女性陣が作ったタケノコ入りメッタ汁と山菜の天ぷらを、参加者全員でいただきました。





森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

3月16日(日) かえっこバザール



不要になったおもちゃをカエルポイントに替えて、別のおもちゃと交換する「かえっこバザール」で子ども達に森林再生に関心を持ってもらう事を目的に、ポイントでスギ間伐材のミニプランターづくりやサツキの苗、金沢産材マスコットキャラクターの「かなりん」グッズなどと交換しました。約400人の参加で大盛況でした。



3月29日(土) きのこの植菌体験



里山体験イベントとして東原町町会主催で、きんしん東原の森を会場にきのこの植菌体験を行いました。

一般市民親子28名が参加し、キノコを植える原木をバケツリレーで植菌場所まで運び、電気ドリルで穴を空ける体験を行って、皆でしいたけとなめこを植菌して自宅で栽培します。



3月19日(水) 不動寺小出前講座



シイタケ栽培を通して、森林が果たす役割を学習するため、毎2年生から取り組んでいます。今回は教室で森の働きを学び学校の裏山、森の中で金沢市農の匠宮川さんから、シイタケの植菌の仕方を教えてもらい植菌しました。昨年植菌した立派なシイタケはお土産になりました。



5月9日(金) 友情の丘森づくり



金沢市校下婦人会連絡協議会会員48名が、医王の里「友情の丘」において、木の下枝払いやクズ切り、土壌改良土のすきこみ、側溝の落ち葉の植栽木根元への散布など行いました。自然環境が厳しい中で、植栽木も育ち、自生のマツの木と相まって良い感じの丘になってきました。



5月24日(土) 小将町中学校 学校林整備



小将町中学校 学校創立記念日に合わせて、全校生徒と保護者、職員340名が参加し学校林の整備と植栽を行いました。初めに森林の機能と重要性を理解してもらい、学年ごとに担当場所に分かれ草刈と、クヌギとコナラの植栽を行いました。今回は各学年に指導者を付ける事が出来、より丁寧な植栽作業が出来ました。

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や活動報告などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどできるサイトとなっています。

貸し出しする道具の種類や予約・貸し出し状況が、ホームページ上で分かるようになっています。

森づくり通信を見ることができます

サイト内の「森づくり通信の発行」欄に、創刊号～最新号までのリンク(pdfファイル)があります。

インターネットでの森づくり通信の閲覧や、ダウンロードができます。

また、森づくり団体が実施されている活動は、お知らせコーナーでご紹介しますので、ご覧いただきたいと思えます。



金沢森づくりサポートバンク 登録者募集！！

登録者を随時募集しております。様々な特典が受けられますので、登録がまだの方は是非ご登録下さい！

- **募集対象** 森づくり活動をボランティアとして参加できる、18歳以上の方で、団体または個人。
- **特典内容** 金沢市内で実施する森づくり活動に、人材派遣や森づくりツールの貸し出しなどの支援や会員相互の情報交流を行っています。
- **登録方法** 所定の登録申込書にて、郵送またはFAXにてお申し込みください。
- **申込み・問い合わせ先** 金沢森づくりサポートバンク事務局まで

※ 登録済み会員の皆様からもPRして下さるよう、ご協力の程よろしくお願いたします。 ※

編集後記 「桐」



桐の木は古来鳳凰が住む神聖な木とされ、武将の家紋や日本国政府の紋章としてデザイン化され用いられています。

桐はかつて女の子が生まれたり桐の木を植え、15～20年で成木になるので、お嫁にゆく時に桐の筆筒を持たせる習慣がありました。

桐は世界で2番目に軽い木で、材質は湿気を防ぎ断熱性にすぐれ、加工しやすく狂いにくい。音響性にも優れている事から琴などの楽器にも使われます。5月末ぐらいまで薄紫の花を楽ませてくれます。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎